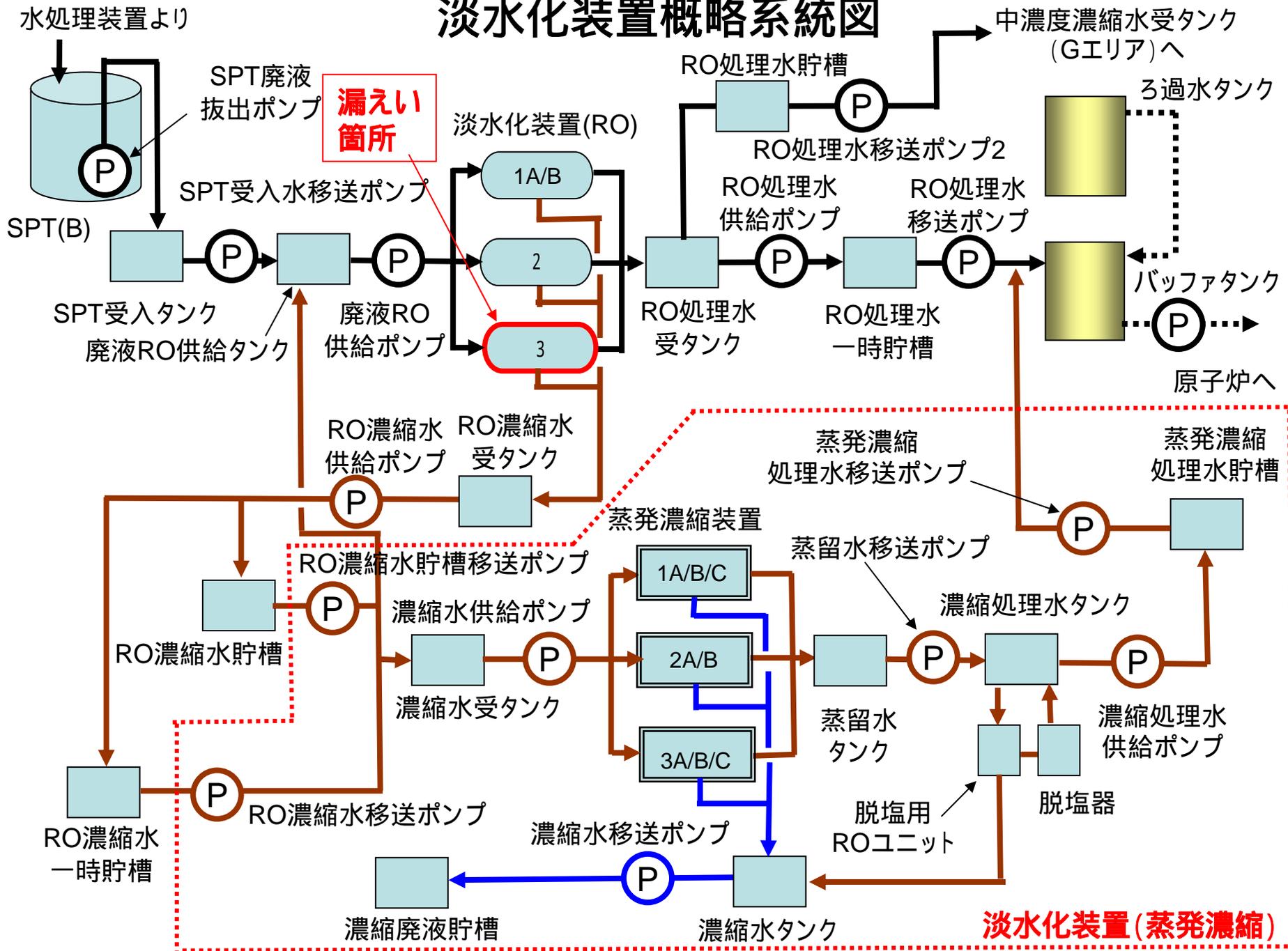


福島第一原子力発電所 淡水化装置（RO3）からの水の漏えいについて

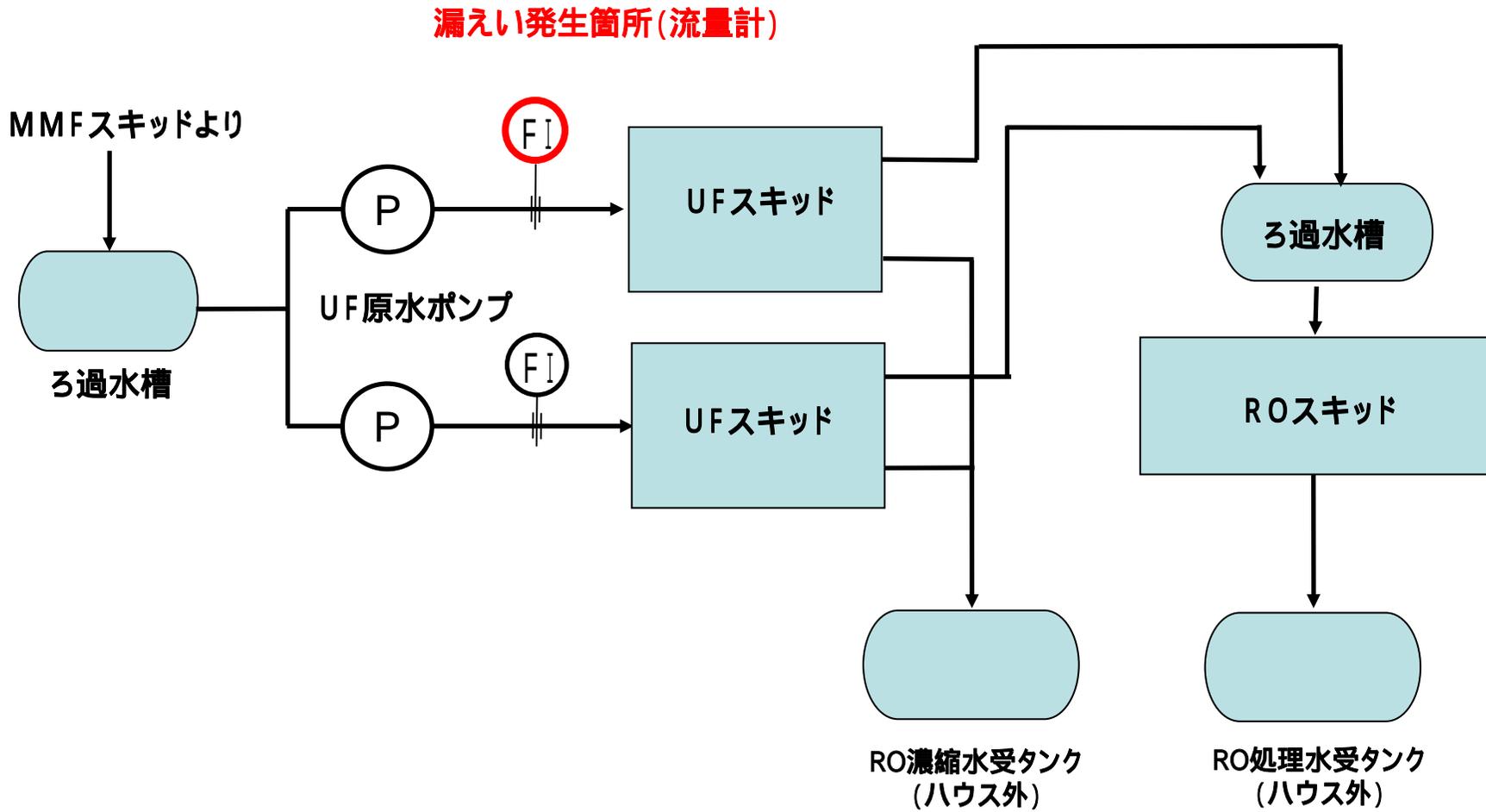
- 日時：平成25年6月21日 2:58頃発見
- 場所：淡水化装置(RO3)ジャバラハウス内
- 状況
 - 2:58 協力企業作業員が、漏えい検知器の作動を確認。
 - 3:03 協力企業作業員が、淡水化装置(RO3)を停止。UF(ウルトラフィルタ)原水ポンプ出口弁の閉止操作を実施。
 - 3:17 現場にて漏えいの停止を確認。
 - 4:00頃～6:00頃 床面に吸水材設置。
 - 10:30頃～15:00頃 現場の作業性確保のため残水の回収実施。
 - 13:10頃～ 漏えい箇所特定作業のため、出口弁を開操作し、漏えい箇所はUF原水ポンプ出口流量計の下部キャップと特定。
 - 15:00頃～ 当該流量計を新品と交換。
- 推定漏えい量：約250リットル
- サンプルング結果：Cs134： 5.7×10^{-1} Bq/cm³、Cs137： 1.7×10^0 Bq/cm³
全 放射能： 2.6×10^4 Bq/cm³
- 推定原因：6月20日に実施した当該流量計窓部の汚れの清掃後、復旧時の締付作業により、流量計下部のキャップ首部にき裂が発生し、漏えいに至ったと推定。
- 対策：今後、汚れが確認された場合には、流量計本体を交換を実施する。

淡水化装置概略系統図

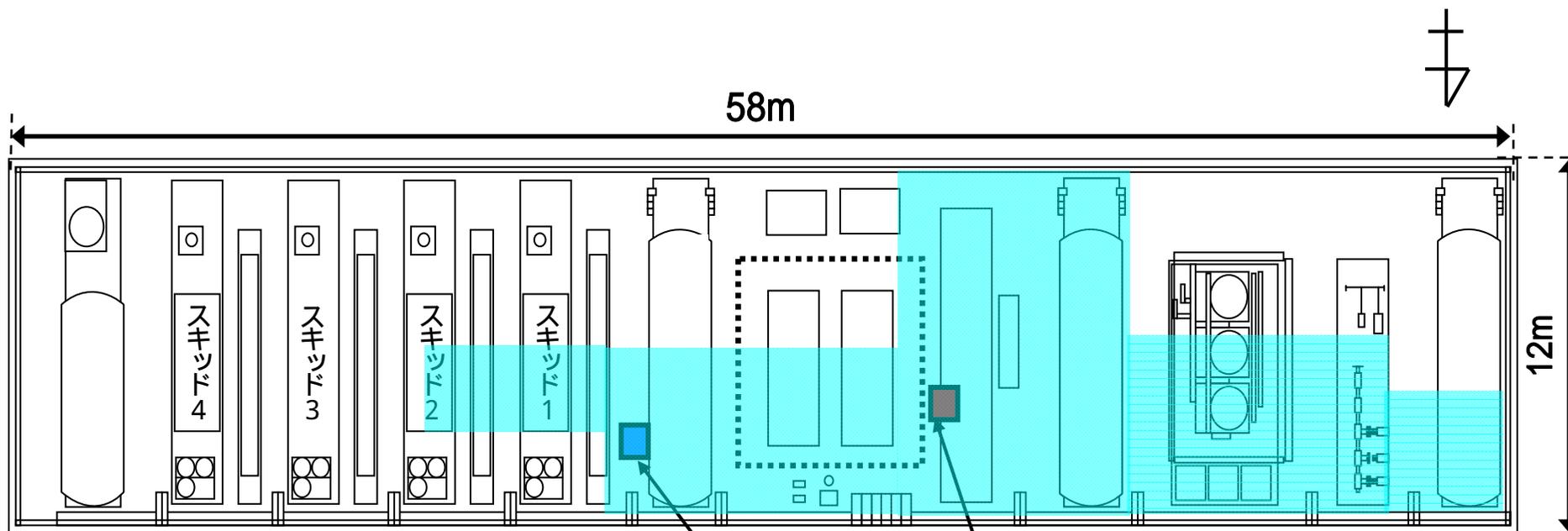


淡水化装置 (蒸発濃縮)

淡水化装置 (RO3) 概略系統図



淡水化装置 (RO3) ジャバラハウス内の漏えい状況



漏えい検知器

漏えい箇所

UF(ウルトラフィルタ)原水ポンプ
出口流量計

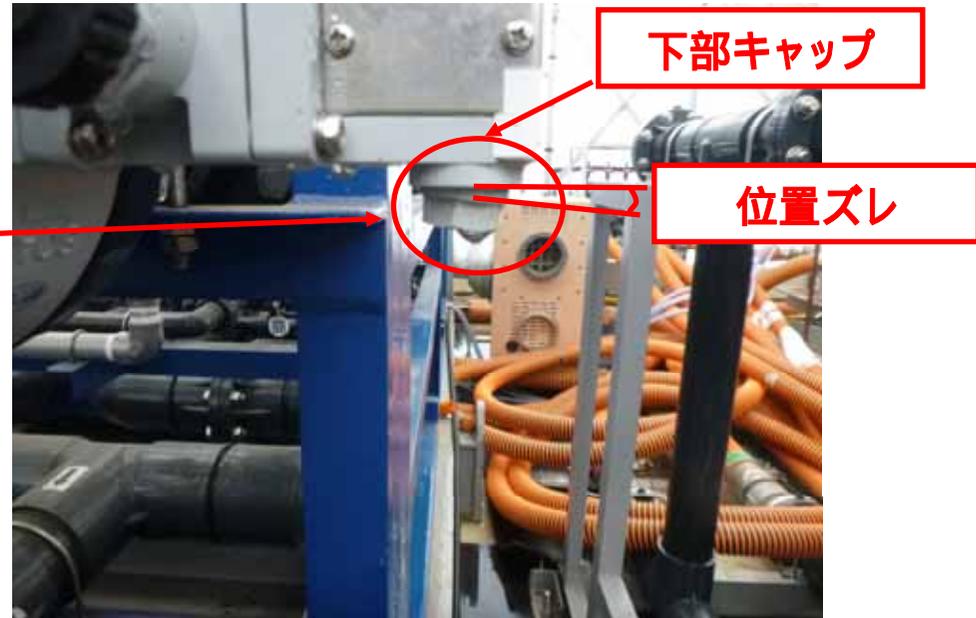
■ : 漏えい範囲 (面積250m²)

推定漏えい量: 250リットル (250m² × 深さ1mm)

当該流量計の漏えい箇所(下部キャップ)状況



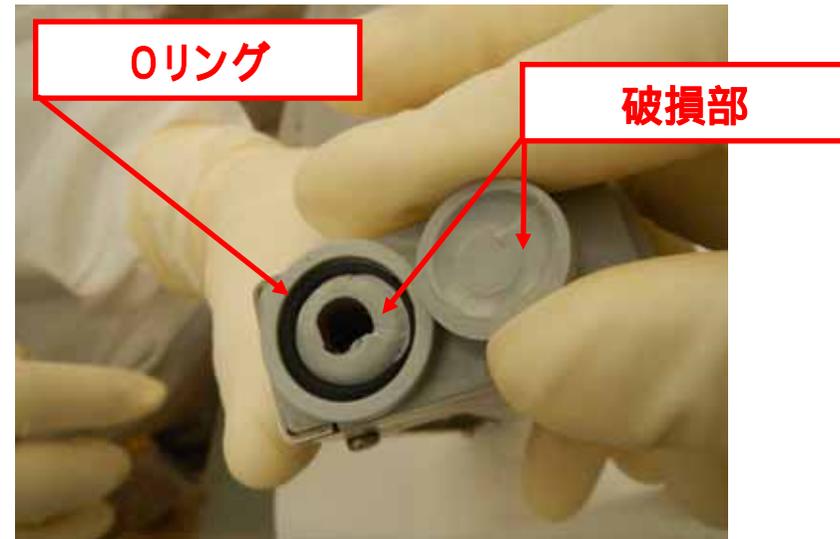
漏えい箇所特定状況



漏えい箇所特定作業前



交換品(新品)



下部キャップ取外作業後(キャップ首部破損)

漏えい推定メカニズム

6月20日に当該流量計窓部の汚れを清掃するため、下部キャップ他を取外し、下部キャップ復旧の際、過剰に締付を行ったため、下部キャップ首部にき裂が発生し漏えいに至ったものと推定される。

(復旧作業後、ポンプ運転圧により、漏えい確認を実施した際には漏えいは確認されなかったが、その際はOリングによりシール性が保たれていたと推定される。)

